

# 令和3年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング 発表資料

## 活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備“に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備“に取り組む	
昨年度までの“環境整備“を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備“と“支援チーム派遣(事業化支援)”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：みやざきSDGsプラットフォーム

活動地域：宮崎県内全域

活動におけるテーマ・キャッチコピー

～地域の繋がり、人の繋がりが創り出す豊かな宮崎の未来～

# 活動団体紹介



宮崎はSDGs認知度全国最下位の県！

【SDGs認知度調査 第7回報告】| 朝日新聞 2030 SDGs (asahi.com)

豊かな農水産物、自然エネルギーなど多様な  
資源を有していながら活かさきれていない・・・



## 目的

- ひとりひとりが「自分ごと」としてそれぞれに出来ることに取り組む土壌を気づく
- SDGsを原動力とした地方創生や人材育成を推進
- パートナーシップに基づいて連携して行動する環境を醸成

## 活動内容:

1. SDGsの理念、具体的取り組みに関する普及・啓発
2. SDGsに関する県内の取り組みの登録・発信
3. SDGsを推進する人材の育成
4. SDGsに関する調査・分析
5. SDGsに関する相談対応及び取り組みへの協力・支援
6. その他、SDGsの達成に向けた取り組み



**構成員:** 本プラットフォームの活動にご協力いただける業界団体、自治体、マスコミ、NPO 法人、大学 等

# ありたい地域の未来を実現するために何をするか

**ありたい地域の未来** ありたい地域の未来イメージを簡潔に記載ください。

- ・県民や次世代を担う若手が地域の課題を自分ごととして捉え、グローバルな視点で考えながら主体的に行動出来る
- ・豊かな自然やエネルギー資源が持てるポテンシャルを活かして、地域循環共生社会が出来ている
- ・各地域でネットワークが形成され、県内全地域における活動が加速・多様化する

**課題** (地域の課題、ありたい未来を達成するための障害など)

- ・本プラットフォームの認知度が低い構造的な課題
- ・多様な資源を有しながら地域資源を活かし切れず結果衰退を招いている大都市依存型の思考
- ・点と点が繋がらずネットワークが形成出来ていない

**資源** (活用できる地域資源、必要な資源、地域外の資源など)

- ・多様なステークホルダーが会員となっており、人的資源からの波及効果が見込める
- ・特に「みやざきSDGs教育コンソーシアム(MSEC)」やJC等の若者との連携促進が図れている

**取組** (ありたい未来達成に必要な取組、現在想定している事業のタネ)

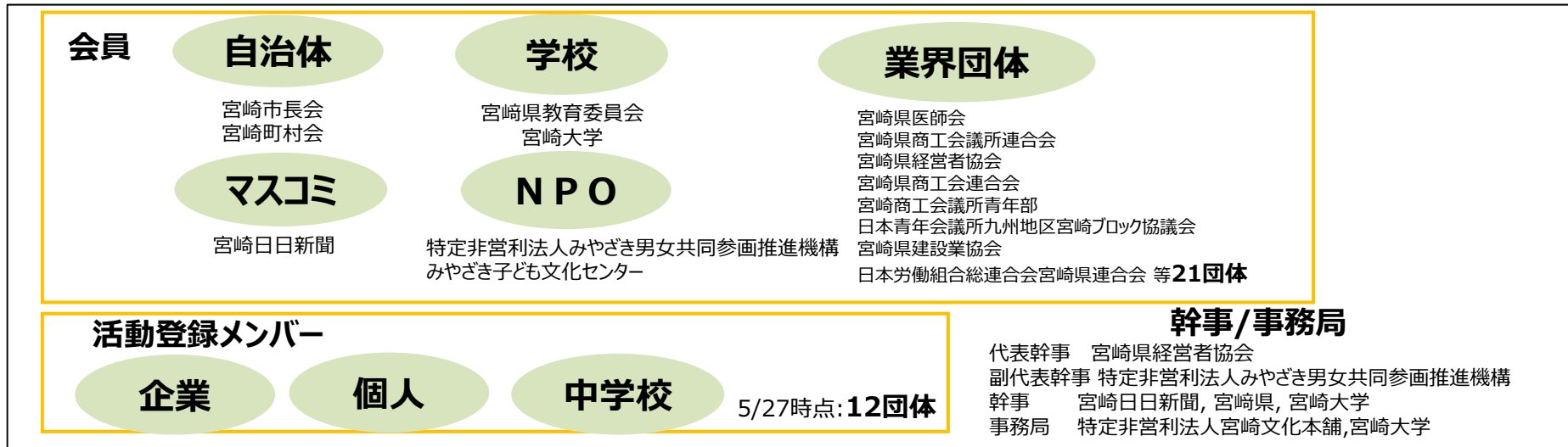
- ・相談窓口の設置
- ・活動登録メンバーの募集と発信
- ・高校生・大学生・企業とが協働で地域課題の解決に向けたアクション(MIYAZAKI SDGs ACTION)の実施
- ・留学生や日本人学生との意見交換会

**成果** (取組によって出したい成果)

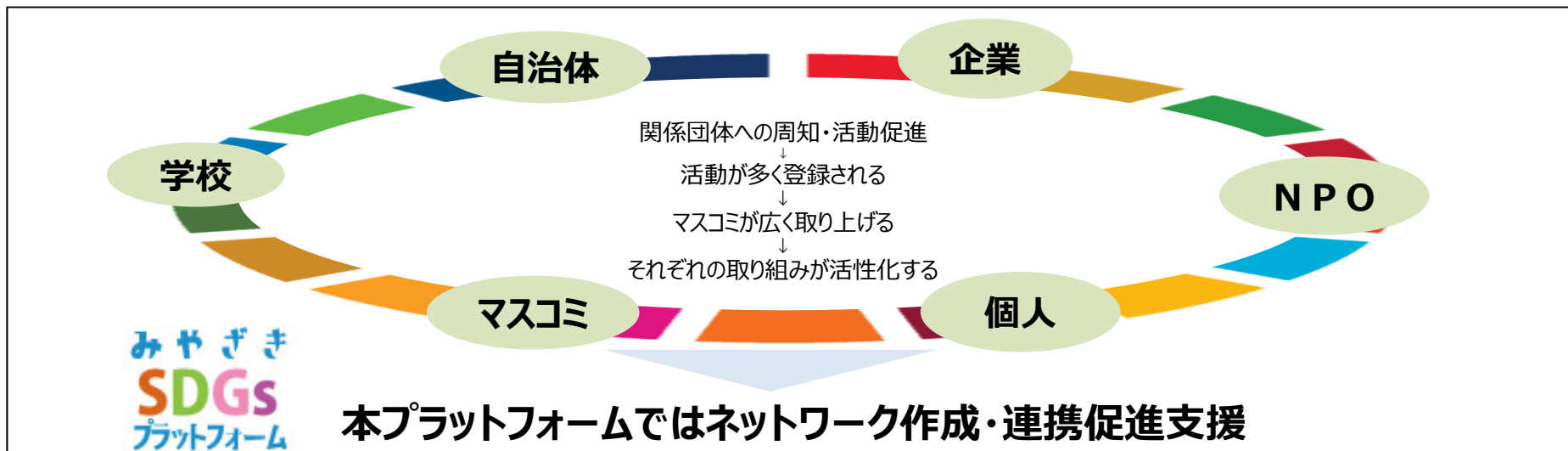
- ・農産物の高付加価値化、エネルギー資源を活かした地域循環システムの確立
- ・それぞれ地域の資源や強みを活かした活動、あるいは課題解決に向けた多様な活動の展開
- ・ネットワーク構築や混ざり合いによる人材育成

# 目指す"地域プラットフォーム"のイメージ

## 現時点での体制



## 環境整備を通して構築する"地域プラットフォーム"のイメージ



# 年間スケジュール（参考資料）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
事業全体の予定			◆キックオフミーティング ←→協定締結（活動予算執行開始）				現地意見交換会		◆中間報告会 ◆中間報告書提出期限			◆成果報告会 ◆活動団体成果報告書提出	
運営	4/9 幹事会 4/19 MSEC 加盟校校長 会 4/20活動登 録メンバー 募集開始 4/20相談窓 口開設	5/16 青年 会議所主催 SDGs推進 フォーラム 登壇	活動登録メンバー募集強化期間					中間評価/ 方針検討会	ディスカッ ション②			ディスカッ ション③	
全体		総会		セミナー開 催					シンポジウ ム				
SDGs ACTION		企画		募集開始			キックオフ				プレゼン		